

越智文雄の一言モノ申す!

株式会社あかりみらいの越智文雄社長が、安心安全な未来に向けた「気づき」を発信するコラム。
エネルギー・防災・防疫などの幅広いテーマで辛口甘口、縦横無尽に斬り散らかす!

空調の自然冷媒ガス導入で 電気料金が3〜5割削減!

私

は「日本の灯りを護る会」代表として照明の2027

年問題に警鐘を鳴らし続けているが、現在は新たな仕事として「電力消費量を3〜5割削減できる」空調分野での自然冷媒ガスの普及拡大に取り組んでいる。日本の電力需要の半分は照明と空調。自然冷媒ガスはクーラーや冷蔵冷凍装置等を使用されるもので、LED照明の普及と合わせると、日本の電力消費量とCO2排出量は半分になる。

地球温暖化問題でオゾン層を保護するための「モントリオール議定書」が取り決められ、製造が禁止された特定フロンに代わって開発されたのが合成化合物の代替フロンだ。それに対し、自然冷媒ガスは文字通り自然界に存在する物質を冷媒として使用したもの。世界市場ではすでに普及が始まっており、欧米諸国を中心に70カ国以上で約800種の自動車のカーブレーヤーや冷蔵機器などに採用実績がある。

国が積極的に周知を
図らないのは国民への「罪」

今の日本の物価高は電気料金の高騰が大きな要因となっている。仮に空調の電気料金が半分になれば、電気料金の国民負担は数兆円規模で改善される。家計も会社経営も自治体の財政も、どれほど負担が軽くなることか。自然冷媒には大きな期待が持たれている。

そうした利点があるにもかかわらず、普及が進んでいないのはなぜか。(社)日本冷凍空調工業会も環境省も積極的に知らせようとしていない。2月に発表された政府脱炭素行動計画の改定にも「自然冷媒機器の率先した採用」という1行があるだけである。

この情報を広げないのには業界事情がある。それは現在使用されている代替フロンの在庫が山ほどあるから。電気代が半分になり、国の経済や経営が楽になるどころな、に優れた新製品でも、これを使い切るまでは採用しないという空調メーカーの利権が普及を妨げている。

る。既存勢力は「自然冷媒ガスは燃えやすい」などのデマや「このガスを入れたら保証も点検もしない」といったネガティブキャンペーンを張っている。

こうした事情を経済産業省や環境省は黙認している。世界で使われている有効な自然冷媒ガスの使用を積極的に周知しないのは、国民に対する「罪」である。電気料金の高騰と物価高にあえぎ、電気料金がもつたいたないばかりに熱中症になってしまふ人もいるのに、どうして広めないのか!と声を大に

して言いたい。本誌でも書いたように、原子力再稼働シナリオがあるから電力削減の情報は国民に知らせたくないのだろう。

全国で一番高い沖縄の電気料金が経営に重くのしかかっている。自然冷媒は全国のスーパーやホテル、ジム、道の駅、農業施設でも使われるようになり、沖縄でもうるま市や読谷村などに30から50パーセントの電気料金削減を実現している施設があるという。詳しくは「あかりみらい 自然冷媒」で検索していただきたい。



越智 文雄
エネルギーコンサルタント
防災・危機管理アドバイザー

1957年生まれ。80年より北海道電力・電気事業連合会に勤務。97年、電事連でCOP3に立ち会う。2008年、北海道洞爺湖サミット環境総合展事務局長。12年、株式会社あかりみらいを起業。全国のカーボンニュートラル対策、完全LED化に取り組む。「(一社)日本の灯りを護る会」代表、日本除菌連合会長、(一社)次亜塩素酸水溶液普及促進会議代表理事。

株式会社あかりみらい

akarimirai

お問合せはこちら

0120-760-814

フリーダイヤル受付(平日9時~17時30分)

あかりみらい

【沖縄あかりみらい(株)】

沖縄県那覇市久茂地2-19-5

【札幌本社】北海道札幌市北区北11条西2-2-17
セントラル札幌北ビル4階

【東京支社】東京都中央区日本橋室町1-2-6
日本橋大栄ビル7階

【大阪支社】大阪府大阪市北区梅田2-2-2
ヒルトンプラザウエストオフィスタワー18階

株式会社あかりみらいプレゼンツ

越智文雄の一言モノ申す!